

## 第 12 次 第 1 回 苫小牧市廃棄物減量等推進審議会 会議録

日 時 : 平成 29 年 5 月 10 日 (水) 13:30~14:30  
会 場 : 市役所北庁舎 3 階会議室  
出席委員 : 17 名  
会 議 録 :

### (環境衛生部次長)

本日は、お忙しい中ご出席をいただきましてありがとうございます。

司会を担当します環境衛生部次長の入谷でございます。よろしくお願いいたします。ただ今から、第 1 2 次苫小牧市廃棄物減量等推進審議会の委嘱状を交付いたします。それでは、お名前をお呼びいたしますので、その場でご起立願います。

<入谷室長が名前を読み上げ、佐々木副市長より委嘱状を交付する。>

以上で、委嘱状の交付を終了させていただきます。

続きまして、第 1 2 次苫小牧市廃棄物減量等推進審議会の発足にあたりまして、佐々木副市長よりご挨拶を申し上げます。

### (佐々木副市長)

苫小牧市副市長の佐々木でございます。

第 1 2 次 苫小牧市廃棄物減量等推進審議会の発足にあたりまして、一言ご挨拶を申し上げます。

ただ今、委員の皆さまには岩倉市長に代わりまして、委嘱状を交付させていただきました。この度は、みなさん、それぞれお忙しい中、委員を快くお引き受けいただき、本当にありがとうございます。改めて心から感謝を申し上げます。誠にありがとうございます。心から御礼申し上げます。

さて、本市では、平成 19 年度から市民一丸となって、ごみの減量及びリサイクル率の向上ということで取り組んでおります。お聞きになったことがあると思いますけれども、053 (ゼロごみ) 大作戦というのをやっております、少しずつではありますけれども、その効果が見えてきております。市民の皆さまのご協力なしではこの作戦はなかなか進まないところでございますけれども、おかげさまでごみの分別リサイクルの考え方が市民の皆さまにだんだんと浸透してきてまして、以前では私の記憶で平成 15 年当時のリサイクル率というのは 7.5% という低さで、全道的にも低い状況だったということも議会で話題になったことがございます。それが今、皆さまのご協力もありまして、平成 27 年度の目標値 30% を超えることになってきています。ただこれでいいということではございませんので、今後も市民の皆さまとともに、ごみの減量とリサイクルの推進を継続してまいりたいと思っております。

苫小牧市は昨年度から「ふくし大作戦」ということで、家庭ごみの適正な分別の促進やふくしのまちづくりの取組みの一環として、高齢者や障がい者への新たな福祉サービスを目的として、戸別収集のモデル事業を実施しているところでございます。今年度も引き続き戸別収集の試行を継続し、今後は段階的な導入に向けた検証を行ってまいりたいと考えております。ごみの減量化とリサイクルの推進等について、委員の皆さまから忌憚のないご意見を伺いながら、今後の廃棄物行政に活かしてまいりたいと考えておりますので、ご協力のほどよろしくお願い申し上げます。簡単ではございますが、

冒頭の挨拶に代えさせていただきます。どうぞよろしく願いいたします。

**(環境衛生部次長)**

佐々木副市長は他の公務がございますのでここで退席させていただきます。

<副市長退席>

**(環境衛生部次長)**

本日は、委員20名中17名が出席しており、「苫小牧市廃棄物の処理及び清掃に関する条例」及び「同施行規則」により、審議会成立の要件であります半数以上の出席を得ておりますので、ただ今から、第12次第1回苫小牧市廃棄物減量等推進審議会を開催いたします。

会議に先立ちまして、本日出席しております委員の方々から一言、自己紹介をお願いいたします。

<各委員の自己紹介>

**(環境衛生部次長)**

続きまして、市側の関係職員を紹介いたします。

<関係職員の自己紹介>

**(環境衛生部次長)**

それでは、会長、副会長の選任につきまして、お諮りいたします。

審議会条例により正副会長各1名を選出することとなっておりますが、選出の方法につきまして、ご提案はございませんでしょうか。

<事務局一任>との声

**(環境衛生部次長)**

事務局一任という声がありましたので、事務局の方でご提案をさせていただきたいと思えます。

会長には、栗山委員をお願いしたいと思えます。また副会長には志賀委員をお願いしたいと思えますがいかがでしょうか。

<異議なし>との声

**(環境衛生部次長)**

ありがとうございます。それでは、皆様の拍手で決定したいと思いますので、よろしく願いいたします。

<拍手>

**(環境衛生部次長)**

ありがとうございます。それでは、恐れ入りますが、栗山会長は、会長席にお移りいただきたいと思えます。

志賀副会長は本日欠席のご連絡をいただいておりますので、後日事務局からお願いをいたします。

それでは、会長の就任にあたりまして、一言、ご挨拶をお願いいたします。栗山会長よろしく願いいたします。

**(栗山会長)**

ただ今、ご指名いただきました栗山でございます。本審議会の皆さまにご協力をいただきまして、円滑に進めてまいりたいと思いますのでどうぞよろしくお願いいたします。

本審議会では、第8次審議会において、大幅なごみ減量のためには家庭ごみを有料化すべきとの結論に至り、「家庭ごみの有料化について」市長に答申いたしましたことから、平成25年7月から家庭ごみ有料化、紙類の資源化がスタートしたという経緯がございます。

その答申の際に、「家庭ごみの有料化は、大幅なごみ減量のための施策の一つであり、唯一の手段ではないため、様々なごみ減量とリサイクルの推進方策を一体的に実施すること」と「市民理解が得られるよう、十分に周知・啓発すること」を付帯要望しましたことから、本審議会では委員の皆さまから引き続き、ごみ減量化と資源化を同時に進めるための幅広い意見をいただきたいと考えておりますので、よろしくお願いいたします。

先ほど副市長からもお話がありましたが、市では家庭ごみの適正な分別の促進をはじめ、高齢者や障がい者への新たな福祉サービスを目的として昨年7月から戸別収集のモデル事業が開始され、本年度も試行が継続され事業が実施されており、ごみ減量とリサイクル推進、環境美化について様々な取り組みを始めているとのこと。私自身も、市がごみ減量化と資源化にどのように取り組んでいくのか興味を持っているところです。

この第12次の審議会では、これらについて、どのように多くの市民の皆さんに周知・啓発を行っていかれるのかを見定めるとともに、委員の皆さまからも市の施策に対するご意見などを出していただき、将来の廃棄物行政に対する審議を行っていきたいと考えておりますので、委員の皆さまには、忌憚のないご意見をいただくようお願いしたいと思います。以上、簡単ではございますが、ご挨拶とさせていただきます。

**(環境衛生部次長)**

栗山会長ありがとうございます。それでは進行をお願いいたします。

**(栗山会長)**

それでは、会議次第に従いまして会議を進めさせていただきます。本日の審議会の開催時間は3時頃の閉会と考えておりますので、議事進行へのご協力をよろしくお願いいたします。

それでは、まず、本審議会の設置目的や開催経過等につきまして、事務局の方より説明をお願いいたします。

**(環境衛生部部长)**

<西田部長より苫小牧市廃棄物減量等推進審議会について説明>

**(栗山会長)**

ただ今の説明に対しまして、何か質問やご意見等がございましたらお願いいたします。

**(A委員)**

先ほどリサイクル率が30%というお話をされていますが、残りの70%というのはどういうもので、中身は何なのか分かると、もう少しリサイクルが増やせると思います。自分の家においては、リサイクルはほとんど80%以上されていると思います。もうこれ以上リサイクルできないと思うほどリサイクルしていますが、ごみの中でどのようなものが混じってリサイクル率が30%前後で推移するのかと知りたいんですけども。

**(環境衛生部次長)**

リサイクルできないごみの内容についてお尋ねいただきましたけれども、たとえば紙ごみですと本来紙は紙ごみとして資源で出せますが、汚れが付着したものですとか、使用したティッシュペーパーなど、あるいは、ごみをみなさんコンポストとかご利用されている方もいるとは思いますが、そういったこともされないで普通に燃やせるごみとして出されているケースもございます。燃やせるごみの52%が生ごみとなっていますので、そういったものがリサイクルされずにごみとして排出されているという状況です。

**(A委員)**

生ごみを改めてリサイクルしてコンポストで肥料として堆肥化してというのは、苫小牧市として考えてはいないですか。

**(環境衛生部次長)**

実は昨年度から取り組みを始めたんですが、キエーロはご存知ですか。コンポストは肥料を作るものですけれども、キエーロは土の中で処理してしまう、消滅させてしまうというものです。今までは家庭菜園されている方はコンポストを使われているんですけども、例えば共同住宅に住まわれている方ですとか業者さんですと、なかなかコンポストは使用しづらいということで、キエーロの中に入れて分解して無くしてしまうという方法を昨年度から取り組みをしていて、モニターを募集していて、なかなか好評な結果を得ていたところでございます。今年度の取組が廃品 de キエーロという、苫小牧でわれわれが考えた物なんですけれども、衣装ケースに黒土を入れて試験したらどうだろうということで、これもモニターを20名募集して、つい先日20名達したんですけども、そういった取組もいろいろやってみて当然、事業所さんの粹もございますので、そういった取組でなかなか今まで処分しきれなかった生ごみについても対策をとって、進めていこうというところでございます。

**(A委員)**

それでは生ごみがそういうふうにされたということによって、いくらかは違うという結果は出ているんですか。

**(環境衛生部次長)**

モニターについては20名という少ない人数でそれが広がっていけば、先ほど言いました52%の生ごみが相当減るのではないだろうかということで、これからその取り組みを広めていきたいと考えております。

**(栗山会長)**

他にございますか。

**(B委員)**

今の生ごみのことでリサイクルセンターなどで電動生ごみ処理機の貸し出しをしていて、私の周りでも使っていて良かったという方が多いのですが、購入となると決まった業者さんからしか助成金をいただけないようですが、他の市町村ですとこのメーカーでもいいですよという広がりがあるんですが、そういった改善とかはしていただけるんでしょうか。

**(環境衛生部部長)**

今、助成の対象というのは苫小牧の企業さんが扱っているものを助成しているんですけども、これが例えばネット通販のものまで助成の対象にするのか、また札幌に行って買って来たものを助成の

対象にしてくれないかなど、いろいろな意見は出ると思いますが、今は苫小牧市内で扱っている業者さんがあるので、苫小牧市にある事業所の地元の企業さんに対する助成ということを考えておりますので、そういう形になってはいますが、そういう観点でいえばネット通販で買って領収書を貰えば助成してもらえないかという意見はあっていいと思います。そういうのが広がっていけば、そういう意見を尊重するという形になると思います。

#### (B 委員)

よろしくをお願いします。やはり家電量販店とかネット購入の方が安いので主婦としては1万円でも2万円でも安い方が助かります。

#### (栗山会長)

よろしいですか。

なければ報告事項につきまして事務局からお願いいたします。

<報告事項①苫小牧市一般廃棄物処理基本計画について(資料2) ②苫小牧市一般廃棄物の推移について(資料3)事務局から説明>

#### (栗山会長)

ありがとうございました。ただいまの説明についてご意見などありましたらお願いいたします。

#### (C 委員)

私は新明町5丁目に住んでおまして、研究林のフェンスがありますよね。そこには鹿がおりまじたり、たぬきがいたり、いろんな動物がいます。そこで最近驚いたのが、犬の散歩でそこを歩きますが、ニワトリが白いのが10羽出てきたのに驚いて、どうしてこんなところに捨てるんだろうと思いました。フェンスは2メートルは超えています。その中にタイヤとか掃除機とか大きなポリタンクとかいろいろなものがフェンスの中にあります。最近では鹿とかいろんな動物が降りてきていました。そういうものに足をつかえたり怪我をしたりすることは無いのかと心配しております。そこを毎日通るのですが、右側には投棄されたテレビがあって画面だけ投げてあったり、たんすなどが壊してあったり、キッチンなど壊して縛って捨ててあったりというのが1年半そのままになっています。そういうものは本当に巡回していただいているのか、看板はA4の小さい、例えば犬のフンは持ち帰りくださいというような小さな看板が、日産のところにしかな立っておりませんけれども右左がほとんどですね。今は木の根っこを掘って木を伐採して剪定したものを縛って全部投げてあります。そういうのも一度巡回していただきたいと思います。看板の下には小さく電話番号が書いてあるんですが、犬の散歩にペンを持って歩きませんので、今日はお知らせして巡回していただきたいと思います。もし撤去できるものがあればしていただきたいと。例えばそこは人が通るわけではございませんけれども、そういうところにこそ捨てる。見ていないだろうと思い、あんな高いフェンスの中にタイヤが何本もあったり、掃除機が投げてあったりするのでしょうか。撤去するとなると中から入ってですか。それをお聞きしたいです。

#### (ゼロごみ推進課副主幹)

基本的には不法投棄に関しては投げた人が一番悪いんですけども、それが判明しない場合には土地の管理者が処理する方向になっております。

**(C委員)**

札幌方面に向かいましたら右が研究林のフェンスになっていて、右の方は雑草ですので。

**(ゼロごみ推進課副主幹)**

その辺は土地の管理者を調べまして私ども不法投棄班というパトロールしている指導員というのがおりますので、一回土地の管理者を調べて一度そこを調べてみます。

**(C委員)**

はい、自転車も何台も錆びてあるのが投げてあつたりするので、見えない所に捨てる方も悪いでしょうけれどもぜひ視察をして対処していただきたいと思います。

**(A委員)**

同じような意見ですが、実は私、東開町に住んでおりまして、東開町から向こう側の海岸線がとっても汚いんですよね。あそこも持ち主の関係とかがあるのかなと思いますけれども、海から流れてきた物なのか不法投棄なのか分からないですけれども、冷蔵庫の燃やしたものや半分燃えているんですよ。海の淵でそういうものがたくさんあるんですけれども、そういうのは市で持ち主に指導していくとかなんとか方法はとってもらえないのか、このごろ思っているんですがいかがなものでしょうか。

**(ゼロごみ推進課副主幹)**

場所について後ほど教えていただきまして、それも土地の管理者を調べまして撤去を要請するとか対応してまいりたいと思います。

**(栗山会長)**

他にございますか。無いようであれば事務局からお願いいたします。

**(事務局)**

次回の開催につきましてご案内いたします。

次回の開催につきましては、秋ごろに予定をしておりますが、会議の必要などがある場合には委員の皆様にご連絡いたしますのでよろしくお願いいたします。以上でございます。

**(栗山会長)**

よろしいでしょうか。

それでは、本日の審議会はこれで終了いたします。委員の皆様のご協力に感謝申し上げます。

ありがとうございました。